目次 CONTENTS

儚さを表現した。 空と水の緊迫感、枯れた孫生えの 空と水の緊迫感、枯れた孫生えの



	•	1		ТС	SUI	T)	『稻穂	An
						【エッセイ】	』第19号の発刊	5-e (アング
何でも望みを叶えてくれるがその度に持ち主の寿命を縮めていく魔の皮 小林新樹 (高7回)	交歓会が蘇らせた青春の思い出 森戸睦子 (高15回)	政治経済学方法論の偉大な先覚者 太宰春台に関する内外の関心の広がり 清水學(高13回)――	独自のスピーカーを製作し楽しんでいます 氏原孝志 (高12回) ――――――	船乗り人生50年 航海士、船長、そして東京湾水先人に 山田徹郎 (高11回)	冬海 横川俊夫 (高9回) ————————————————————————————————————	学校新聞創刊のころ 林 璋 (高5回)	稻穂』第19号の発刊にあたって ポストコロナ時代の同窓会は「楽しむ場」に 松原秀寺(高19回 在京飯田高校同窓会会長)	Ang-e(アングル) われらの校歌作詞者 福澤悦三郎先生墓前にて 牧内雪彦 (中47·高-回) ———

【**今号の表紙作家**】母校への情熱変わらぬ応援団長 ●令和3年度在京飯田高校同窓会定時総会報告 【フレッシュトー **(55歳のつぶやき)** 高37回生9人から <u>Ż</u> 高レベルの文武両道をめざす仲間たちからの刺激 ◇講演報告 「僧医」という仕事 沖陽輔 (高37回) がんサバイバー2年生 繋がり続ける私と地元 30歳エンジニアがシンガポールへ行った理由 YOUは何しにアメリカへ? 社会人ラグビー応援団奮闘記 体内病院への挑戦に誘われて ◇幹事団顛末記 柳澤昭浩 (高30回) 再集合とこれからの 丸山百合 (高37回) 松村みすゞ (高73回) 代田秀雄 (高33回 萩元良介 (高34回) 川村幸子 (高36回入学~37回卒) 岩崎廣和 (高22回) 中島光夫氏 妙 な話 大原直 (高21回) 菅沼大樹 (高5回) 在京飯田高校同窓会事務局長) 今牧まりあ (高72回) 下沢聡夫 (高36回) (高11回) 新樹 (高17回) (高 13 回) $67 \ 64 \ 62 \ 60 \ 58 \ 56 \ 52 \ 50 \ 48 \ 44 \ 40 \ 36 \ 32 \ 30 \ 26$ 22 18

【恩師の思い出】 【同期会便り】 高校時代を思い出すたびいつも鶴川千里先生がいる 在京飯田高校同窓会ホームページの紹介 同窓生の広告(MEMBERS CLIP 『稻穂』協賛金の御礼/サポーター募集 『稻穂』投稿大募集・編集委員大募集/ご寄付の御礼 編集後記 在京飯田高校同窓会無料相談室/維持会費納入のお願 在京飯田高校同窓会役員 令和4年度在京飯田高校同窓会定時総会のお知らせ/卒業回早見表 中47・高1/6/9/10/12/13/14/15/17/22/23回 B O A R D 栗下修一 (高 21 回) 82 81 80 79 78 77 69 68

た。F100号2021年第57回門の機械美と力強い架構を表現し設された水門。その調整弁役の水設された水門。その調整弁役の水設された水門。 年第57回蒼樹会選抜展出品作 「水門の見える風景」表紙作品(中島 光夫 夜明けの風景」F 樹展出品作 10号2022

中島 光夫 (高21回)

刊行されていた格調高い昭和16~18年に飯田中学で 稻穂(とうすい)とは… 『稻穂學報』に因む。



題字 「稻穂」 高田墨山 (高7回)